

## 企画競争実施結果

令和5年3月1日  
経済産業省産業技術環境局環境経済室

事業名：令和5年度グリーン・トランスフォーメーションリーグ運営事業委託費(GXリーグ事務局運営及びGXリーグ参画企業による自主的な排出量取引のための環境整備事業)

(採択事業者)

事業者名	法人番号	提案価格
株式会社野村総合研究所	4010004054032	1,299,900,000

(提案事業者名)

①株式会社野村総合研究所

(審査委員属性)

一般財団法人幹部

一般財団法人幹部

公益財団法人幹部

※審査委員の属性と下記にある委員の順番は対応していない

(採点結果)

提案事業者名	委員A	委員B	委員C	合計
株式会社野村総合研究所	70	81	60	211

提案事業者名	必須事項	事業の実施方法、実施スケジュールが現実的か。	実施方法等について成果を高めるための効果的な工夫が見られるか	事業の関連分野に関する知見を有しているか。	本事業を円滑に遂行するために、事業規模等に適した実施体制をとっているか。	コストパフォーマンスが優れているか。また、適正な積算が行われているか。	ワーク・ライフ・バランス等推進企業であるか。	合計
株式会社野村総合研究所	適	65	28	47	36	20	15	211

(評価コメント)

提案事業者名	コメント
株式会社野村総合研究所	<p>提案書の内容に問題は無く、提案書に沿った業務遂行が期待できる。</p> <p>気候変動のプロジェクト単位の類似実績、昨年度実績については、一定の評価ができる。但し、本格的な制度設計におけるルール開発の手順においては、EU-ETSのMRVやアメリカの州による排出量取引制度、欧州CBAM指令動向と欧州外の各國制度の最新情報、また、関連するISO開発、改定動向を調査の上、日本の制度設計に反映することを期待したい。参加事業者には、レビューション向上につながる企業価値向上を目標に、事務局にはしっかりと制度ルール設計との運用計画を実施していただきたい。立案されたスケジュールについては、来年度検証規格開発から開始するように予定されているが、算定基準、報告基準を予め明確に定めないと、検証機関に対する力量が明確にならないため、結果的には、検証機関の登録プロセスが遅滞することが想起される。なお、検証コストは、スコープ2までの合理的な保証とスコープ3を含む限定的保証における場合は、検証活動の範囲がかわり、かかるコストも変わりうることなども、正確な情報と理解がほしい。また、排出量管理システムをうまく活用することで、オンライン検証等を可能にし、かかる検証コストを減らすことができることも踏まえ、検証規格の作成、制定、運用を期待したい。</p> <p>前年度にGXリーグに関わる業務を実施したことから、シームレスな移行が可能となる点は大きい。既に知見・ノウハウを有し、適切な体制も構築される予定であることから、円滑な運営が期待できると考える。</p>